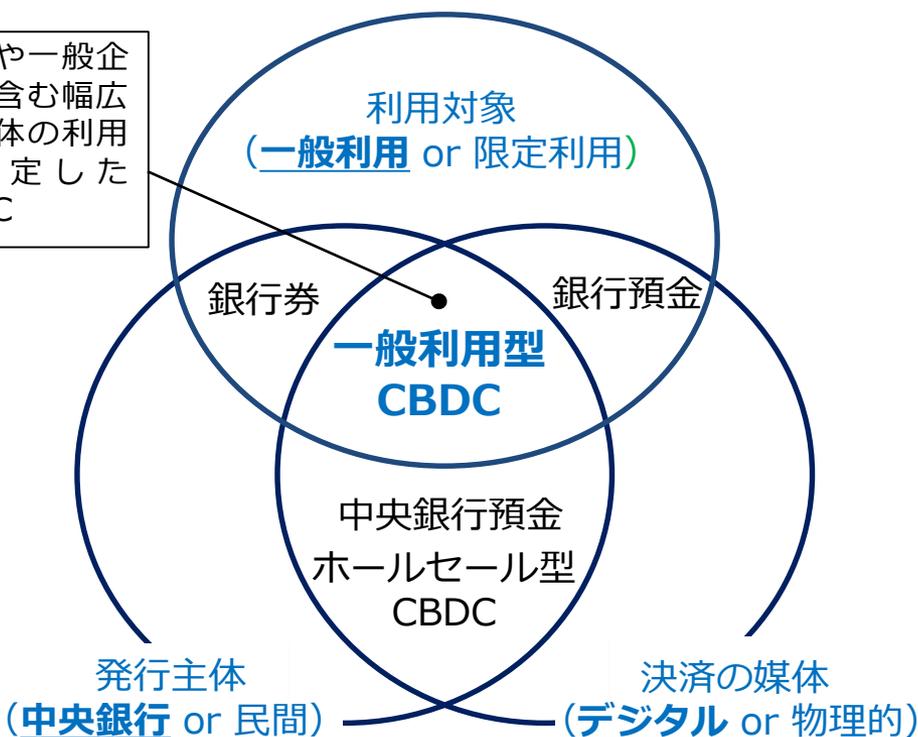


中央銀行デジタル通貨とは

- 「**中央銀行デジタル通貨**」 (Central Bank Digital Currency : **CBDC**) とは、既存の中央銀行預金とは異なる、新たな形態の電子的な中央銀行マネー。
- **現時点でCBDCを発行する計画はないが、今後の様々な環境変化に的確に対応できるように、しっかり準備しておくことが重要。**

通貨の分類



一般利用型CBDCに期待される機能と役割

1. 現金と並ぶ決済手段の導入

2. 民間決済サービスのサポート

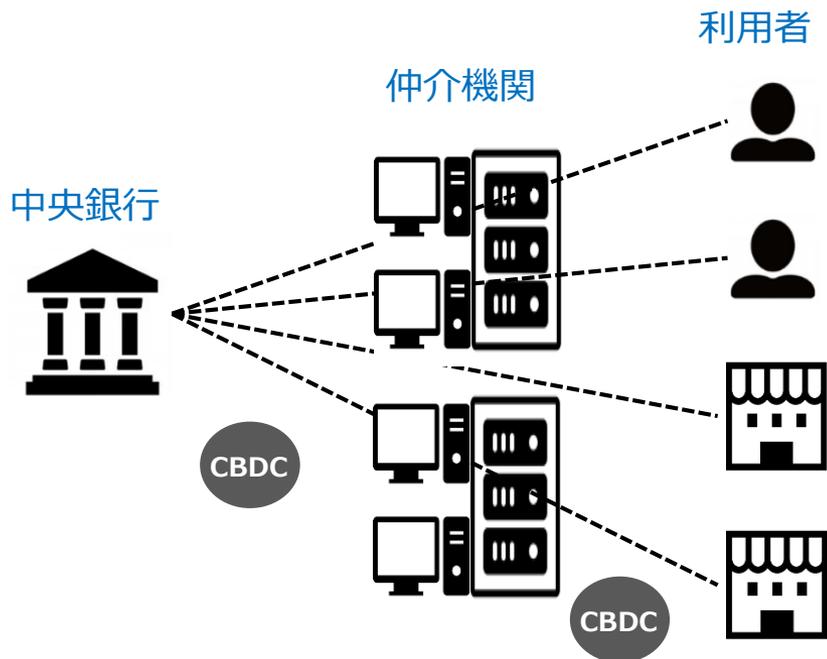
3. デジタル社会にふさわしい決済システムの構築

現金に対する需要がある限り、現金の供給についても責任をもって続けていく。

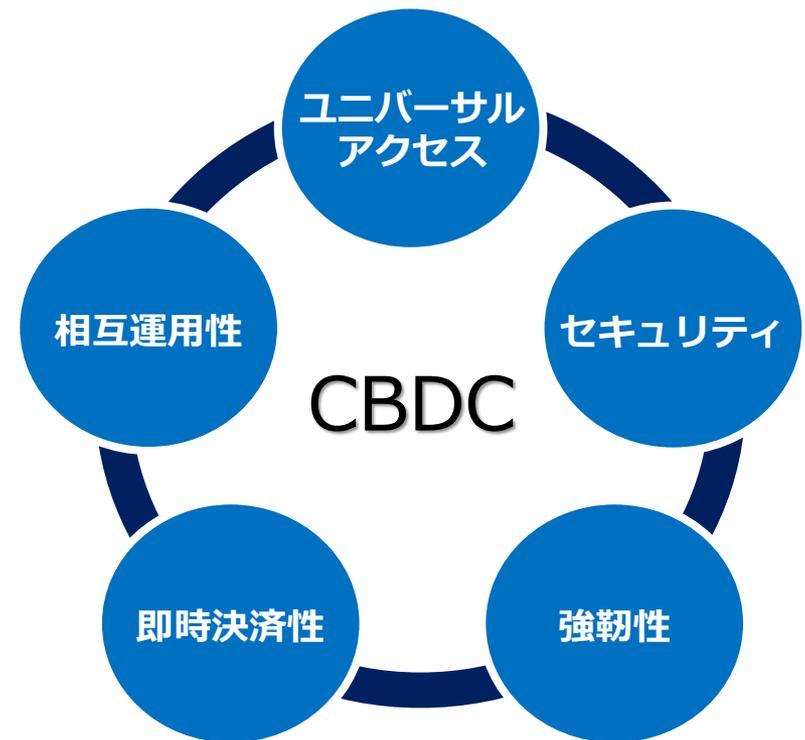
一般利用型CBDCの発行形態と基本的特性

- 一般利用型CBDCを発行する場合、中央銀行と民間部門による決済システムの**二層構造**（「間接型」発行形態）を維持することが適当。
- 一般利用型CBDCには、機能面やシステム面で具備すべき、いくつかの基本的特性がある。

「間接型」の発行形態



CBDCが具備すべき基本的な特性



今後の取り組み

- 今後は、これまでのようなりサーチ中心の検討にとどまらず、**実証実験**の実施を通じて、より具体的・実務的な検討を行っていく。
- 実証実験と並行して、CBDCの発行に関して考慮すべきポイントなどを踏まえ、**制度設計面の検討**を深めていく。内外関係者との連携も重要。

実証実験の流れ

概念実証 フェーズ1

システム的な実験環境を構築し、CBDCの基本機能（発行、流通、還収）に関する検証を行う。

→2021年度の早い時期の開始を目指す。

概念実証 フェーズ2

フェーズ1で構築した実験環境にCBDCの周辺機能を付加して、その実現可能性などを検証する。

パイロット 実験

概念実証を経て、さらに必要と判断されれば、民間事業者や消費者が実地に参加する形でのパイロット実験を行うことも視野に入れて検討。

考慮すべきポイント



物価の安定や金融システムの安定との関係



イノベーションの促進



プライバシーの確保と利用者情報の取扱い



クロスボーダー決済との関係